

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	新規就農者の地野菜生産・加工を中核にした就農支援事業
事業主体 (連絡先)	王滝村 (王滝村役場 産業課 農業係：0264-48-2001)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 (イ農業の振興と農山村づくり)
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,463,990円 (うち支援金：3,359,000円)

事業内容

【水稻・王滝かぶ・そば栽培作業講習会の開催】

継続事業2年目に入り、各種講習会では、特産品の生産拡大を目指すため、それぞれに新規参加者及び2年目の継続参加者等を対象に、質の高い地野菜生産や新たな商品開発に取り組んだ。その内、高齢農業者からの機械作業依頼を受ける王滝村地域農業合理化組合（以下合理化組合）では、そば栽培の受託作業へ新規に耕運同時畝立施肥播種作業を取り入れ、初心者の播種作業でも素晴らしいそば畑を作り上げる作業方法を確立し、人材育成を進めた結果、直近10年のそば栽培で一番の質と量を生産することができ、王滝産そばの需要を高めた。また、すんきの加工作業講習会では、新規作業員育成を目的に、春作の王滝かぶの菜を初心者でも効率よく機械洗浄できる体制を築き、暑い時期に向けた「夏」すんきを生産し、本格的に販売するまでに至った。



【耕運同時小畝立施肥播種機導入】

【目標・ねらい】

- ① 新規就農者の高品質そば栽培・収穫
- ② 地野菜高品質生産実現及び需要拡大
- ③ 合理化組合への人材養成と組織再編
- ④ すんき等加工作業員育成と商品開発

事業効果

- ① 新規就農者及び2年目参加者育成が活発に実施された。
- ② 機械導入により初心者によるそば栽培を実現。(高品質) (播種機導入でそばの省力化栽培・短期間の収穫作業実現)
- ③ 合理化組合の新規オペレーターそば播種4名・刈取り2名育成。
- ④ すんき等加工作業員育成と夏すんき生産・販売本格化。

【水稻】 R1 作付面積 3.9ha →R2 作付面積 3.9ha
 【そば】 R1 作付 4.9ha 収穫 1.4t →R2 作付 5.1ha 収穫 3.2t
 【王滝かぶ】 R1 作付 0.7ha 収穫 10.7t →R2 作付 0.7ha 収穫 5.5t 凶作

※自己評価【A】

【理由】そば栽培では、新規オペレーターが高品質のそばを生産し、大手企業や高級旅館へのまとまった取引にまで発展。また、すんきの加工作業員育成により夏すんき生産・販売が本格化し、今後は、そばとの相乗効果も期待される。

今後の取り組み

ハード事業で整備したクリーンシーダ（トラクターへ装着する耕運同時小畝立施肥播種機）を活用したそば栽培講習会で4人の新規オペレーターを養成することができた。高齢農業者から依頼のあったそば栽培作業面積約5.1haを受講者が連携し、初めての機械播種を完了させた。近年の作柄と比べても質量ともに最良の出来栄で、初めての作業員の仕事とは思えない仕上がりであった。刈取作業講習会でも、二人の新規オペレーターが加わり前年度育成された1名との3人体制で、新規のコンバインをフル活用したそばの収穫作業を実施した。今年度の成果としては、このように農業の中心経営体育成に向けた人・体制づくりを充実させることができた点が挙げられる。

これからは、王滝かぶ生産も守るため、春秋の栽培等において、合理化組合も効率の良い生産体制を構築する必要がある。同時に村内の漬物加工作業員育成にも力を入れ、夏すんきの特産化を少しずつ拡大させるなど、王滝産そばとのコラボレーションにも力を入れる必要もある。最終の取組となる令和3年度は、営農活動におけるIターン者等の活躍を村外へ向けて大きく情報発信し、王滝村の高品質な地野菜生産が初心者の農業者を中心に展開されていることをPRして、今以上に王滝村への移住希望者を増やし、長期を見据えた定住促進と営農の持続を目指す。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある